

日本オペレーションズ・リサーチ学会

1958年度総会および研究発表会記事

本会の1958年度総会および研究発表会は下記の日
程によって開催された。

日時：1958年4月19日～4月21日

場所：東京大学工学部

日程：

評議員会 4月19日 午前11.00—午後 1.00

総会 // 午後 1.00— // 1.30

評議員会 // 午後 1.30— // 2.00

特別講演 // 午後 2.00— // 5.00

シンポジウム 日本におけるオペレーション

ズ・リサーチの応用

4月19日 午後 5.30— // 9.00

研究発表会 4月20日 午前10.00—午後 4.00

記念撮影および懇親会

4月20日 午後 5.00— // 7.00

理事会(新旧理事) // 午後 7.00— // 9.00

見学会 4月21日 午前・午後

日本鉱業、有隣電機、電気通信研究所

総会議事

1) 昭和32年度事業報告および収支計算報告下記
の報告通り承認された。

事業報告

1. 本会は昭和32年6月15日以降必要に応じて次の
会合を催し会務を処理した。

理事会4回、評議員会2回、刊行物委員会6回

2. 昭和32年度における主な事業は次の通りである。

① 研究発表会 年会 32年6月15日、16日

於・慶応義塾大学

// 大会 32年11月2日、3日

於・大阪大学経済学部

② 学会誌発行

J. Op. Res. Japan Vol. 1 No 1~3

経営科学 第2巻 第1号~第2号

3. 学会誌印刷部数および配布状況

発行部数 J. Op. Res. Japan., 経営科学

各 1,500部

会員配布および交換寄贈 国内796部、海外6部

計802部

4. 現在会員数

通常会員 731名

賛助会員 15口

昭和32年度収支計算表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 合 費	20,553	入 会 金	36,600
印 刷 費	484,467	会 費	346,633
雑 費	15,636	未 木 会 費	327,600
通 信 費	34,956	賛 助 会 費	20,000
事 務 費	504,500	引 継 金 (工大より)	68,760
事務消耗品費	41,170	// (経科協会より)	100,000
旅 費	20,950	雑 収 入	3,200
接 待 費	9,000	寄 附 金	500,000
準 備 費 用	65,824		
小 計	1,197,056		
差 引 残 高	205,737		
合 計	1,402,793	合 計	1,402,793

貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	8,956	未 払 金	196,174
振 替 貯 金	65,355		
未 収 金	327,600		
			196,174
		差 引 残 高	205,737
合 計	401,911	合 計	401,911

2) 昭和33年度事業計画および予算案下記の原案
どおり承認された。

昭和33年度事業計画

1. 研究発表会

研究発表会を春秋2回開催する。

春は4月東京において総会と同時に行い、秋は10月中旬地方において行う。

2. 刊行物

欧文機関誌 *J. Op. Res. Japan* は4月中旬に vol,

1. No.3, 5月中旬に, Vol. 1. No.4 を刊行し, 以後引続き Vol. 2の4冊を刊行する。

邦文機関誌は5月中旬に Vol.2, No.3, No.4合併号を刊行し, 引続き Vol. 3の4冊を刊行する。両誌とも毎号48ページ建とし, 発行部数は1,500部とする。

3. 海外との交流

海外のOR研究機関との連絡を緊密にするために, 下記のことを行う。

- (1) 欧文機関誌の海外文献との交換をはかる。
- (2) 邦語文献の外国語への翻訳について便宜をはかる。
- (3) 海外より来訪するOR専門家との接触の機会をつくる。

4. 本会の組織拡充

本会の組織拡充に努め, 本年度は個人会員 100名, 賛助会員40口の新規加入をはかる。

昭和33年度予算

I. 収 入

- | | |
|-----------------|----------------------|
| (1) 通常会員会費 | 877,200 (731名×1,200) |
| (2) 賛助会員会費 | 150,000 (15口×10,000) |
| (3) 未 収 金 | 327,600 |
| (4) 寄 附 金 | 500,000 |
| (5) 通常会員の 新入会見込 | 150,000 (100名×1,500) |
| (6) 賛助会員の 新入会見込 | 400,000 (40口×10,000) |
| 合 計 | 2,404,800 |

II. 支 出

- | | |
|------------|---|
| (1) 会 合 費 | 50,000 (通信費, 理事会6回, 刊行物委員会16回, その他6回) |
| (2) 学会誌発行費 | 1,200,000 (英文誌 Vol. 1, No. 3, No. 4, Vol. 2, No.1~No.4 邦文誌 Vol. 2, No. 3, No. 4, Vol. 3, No. 1~No. 4) |
| (3) 通 信 費 | 100,000 (学会誌発送費を含む) |
| (4) 事 務 費 | 500,000 |
| (5) 事務消耗品費 | 50,000 |
| (6) 役職員旅費 | 30,000 |
| (7) 学会拡充費 | 200,000 |
| (8) 未収金整理費 | 227,600 |
| (9) 事 業 費 | 20,000 (海外連絡費など) |
| (10) 雑 費 | 27,200 |
| 合 計 | 2,404,800 |

3) 評議員の選出

別掲の通り本年度の評議員60名を選出した

4) 名誉会員指名

本会初年度会長 久留島秀三郎氏

同 副会長 目崎 憲 司氏

の両氏に本会の名誉会員の地位を贈ることを可決

シンポジウムおよび研究発表の内容については別掲記録参照のこと。

新年度役員人事

総会評議員会, 理事会の結果, 本年度役員人事は次の通り決定した (50音順敬称略)

会 長 : 大西 定彦

副会長 : 厚母 庸二, 河田 龍夫

理 事 : 朝尾 正, 朝川 庸二, 厚母 庸二

大西 定彦, 小野木次郎, 茅野 健

河田 龍夫, 国沢 清典, 小柳 賢一

近藤 次郎, 関 和文, 田村 市郎

松田 武彦, 森口 繁一 (以上14名)

常務理事

庶務担当 松田 武彦, 朝尾 正

会計担当 小柳 賢一

刊行物担当 近藤 次郎

監 事 : 奥村誠次郎, 門川 清美

幹 事 :

庶務担当 : 秋葉 博, 水野幸男, 渡辺浩

会計担当 : 菅波三郎, 千住鎮雄

刊行物担当 : 大沢 豊, 小柳芳雄

評 議 員

朝尾 正, 朝川庸二, 厚母庸二, 石川 馨

弥永昌吉, 宇野利雄, 上田輝雄, 植木 繁,

内田俊一, 江崎 武, 小野木次郎, 奥村誠

次郎, 門川清美, 茅野 健, 河田龍夫, 河

村知男, 北川敏男, 国沢清典, 小平 潔,

小林正次, 小柳賢一, 古瀬大六, 後藤正夫,

近藤次郎, 樫木義一, 城 憲三, 関 英男,

田中星太郎, 関 和文, 田村市郎, 多田和

夫, 高橋浩一郎, 高橋秀俊, 高宮 晋, 中

西寅雄, 中原勲平, 丹羽徳次郎, 野田信夫,

橋本元三郎, 林 文彦, 東 秀彦, 藤尾太

郎, 増山元三郎, 松浦陽恵, 松田正一, 松

田武彦, 前田活郎, 丸山儀四郎, 水谷一雄,

南川利雄, 宮崎政義, 宮沢光一, 村上喜一,

森口繁一, 山田 勇, 山内二郎, 山本 昌,

横山 保, 大西定彦, 木田経古, 石川 馨